

第11章 修了者の進路及び活動状況に関する事項（新）

もとより職のある社会人の当専攻修了者は、必ずしも法曹三者になるだけが目標ではなく、元の職場でのキャリア・アップを目的として入学・修了し、司法試験合格後も元の職場に留まる者も常に一定数いるところが当専攻の特徴である。それゆえ、仕事が忙しい社会人学生が主であり、勉強時間がどうしても不足しがちな当専攻の修了生の司法試験合格率が全国的に見て低めではあるものの、なお当専攻の志願者が減らないどころか増えているのは、このあたりに要因があると思われる。

当専攻では、法科大学院の教育活動等に関する重要事項である、修了者数、司法試験合格者数・合格率その他修了生の進路については、当専攻のウェブサイトより、毎年度公表している。

当専攻のウェブサイトに「修了生の皆様へ～ご連絡先等お知らせのお願い」として、修了後の状況につき情報提供を求めている。またジュリナビの就職動向調査プロジェクトへの協力依頼を行っている。さらに、当専攻の同窓会組織の活動に対し支援を行っている。

[特長]

なし

[課題]

当専攻の学生はもともと様々な層の社会人であるため、修了後はそれぞれの環境に戻るなど、修了生との連絡・連携も強固とは言えず、これを強化することが課題である。